

安全保障理事会議長声明

「中東情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2010年6月30日に開催された、安全保障理事会の第6352回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

国際連合兵力引き離し監視軍の職務権限の更新についてつい今しがた採択された決議に関連して、私は安全保障理事会を代表して以下の補足的な声明を發する権限を与えられている。

周知のように、国際連合兵力引き離し監視軍に関する事務総長報告書(S/2010/296)は、第13項で、「中東情勢は、緊張しておりまた中東問題のあらゆる側面に及ぶ包括的な解決に到達できない限り、それが存続しそうである。」事務総長のこの声明は、安全保障理事会の見解を反映している。